

令和4年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します ～今年は、緊急時の対応体制の整備、暑熱非順化者の把握、WBGT値の実測に着目～

厚生労働省及び愛媛労働局では、職場における熱中症予防対策を徹底するため、労働災害防止団体などと連携し、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します。

●実施期間

令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間：4月、重点期間：7月）

●「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の主な取組

厚生労働省及び愛媛労働局では、労働災害防止団体などと連携し、事業場への熱中症予防に関する周知・啓発を行う他、厚生労働省では、熱中症に関する資料やオンライン講習動画等を掲載しているポータルサイトを運営します。

また、周知、啓発に当たっては熱中症発生時に速やかに適切な対応を行うために必要な「初期症状の把握から緊急対応までの体制整備」、熱中症の発症リスクの高い作業員に対応するために必要な「暑熱順化が不足していると考えられる者の把握」、熱中症を発生させないために必要な「WBGT値（暑さ指数）の実測とその結果を踏まえた対策の実施」について重点的に呼びかけます。

●令和3年職場における熱中症による死傷災害の発生状況（速報値）

令和3年の全国速報値では、休業4日以上死傷者数は547人、うち死亡者数は20人となっています。（愛媛県における死傷者数は9人、死亡者は0人）

業種別にみると、死傷者については、全体の4割強が建設業と製造業で発生しています。さらに、死亡者数は、「建設業」、「商業」の順に多く、被災者の救急搬送が遅れた事例が見られます。また、入職直後や夏休み明けで暑熱順化が不十分とみられる事例や、WBGT値を実測せず、その結果としてWBGT値基準に応じた措置が講じられていなかった事例なども含まれています。

◆関係資料などは、以下のポータルサイトからダウンロードできます。

「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組ましましょう！

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点期間7月）

4月 準備期間 5/1 7月 キャンペーン期間 重点取組期間 8月 9月 9/30

確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう！

準備期間（4月1日～4月30日）	
WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。
作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。
設備対策・休憩場所の確保の検討	防暑用屋根の設置、送風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。
服装などの検討	通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。
教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょ。 「まわす救急箱」を呼びましょ
労働衛生管理体制の確立	衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょ。
発症時・緊急時の措置の確認と周知	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょ。

【主催】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国建築業協会【協賛】公務員厚生法人日本保安用器協会、一般社団法人日本電気計測器工業会【後援】関係団体（予定）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1 □WBGT値の把握
JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょ。

STEP 2 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょ。

WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょ。休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩分などを設置しましょ。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょ。
通気性の良い服装等	
作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょ。
暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょ 。特に、 入職直後や夏休み明けの方は注意が必要 です！
水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょ。
ブレイクリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょ。
健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょ。
日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎず、よく休ましょ。また、当日は朝食をしっかり取るようにしましょ。熱中症の身体的症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょ。
作業中の作業員の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士の健康状態をよく確認しましょ。特に、入職直後や夏休み明けの作業員に気を配りましょ。

STEP 3 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょ。

WBGT値の低減対策は実施されているか	異常時の措置 ～少しでも異常を感じたら～ ・いったん作業を離れ、休憩する ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない
WBGT値に応じた作業計画となっているか	
各作業員の体調や暑熱順化の状況に問題はないか	
各作業員は水分や塩分をきちんと取っているか	
作業の中止や中断をさせなくてよいか	

重点取組期間（7月1日～7月31日）

□実施した対策の効果を再確認し、必要に応じて追加対策を行いましょ。

□特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょ。

□水分、塩分を積極的に取りましょ。

□各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょ。

□期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょ。

□休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょ。